

常陸大宮市議会広報

Hitachiomiya City Council News



こどもセンターでは
「親子ふれあいスペース」
を開設しました。

保護者の方が付き添いで
あれば、誰でも利用OK。
お気軽にどうぞ♪

常陸大宮市こどもセンター
0295-55-8873



詳しくは動画
「こどもセンターに行ってみた」
をご覧ください。



いっぴー子育て
ひたちおおみや
CHILD CARE SUPPORT

第74号

令和5年4月25日
発行 常陸大宮市議会

主な
内容

第1回定例会 — P2～P3

議決一覧 — P6

予算決算常任委員会審査 — P8～P9

一般質問 — P12～P19

まちかどから — P24

R5年 第1回 定例会

会 期

2月28日から
3月23日まで

専決処分
1 件

R5年度予算
9 件

R4年度補正予算
5 件

条例制定
1 件

条例改正
9 件

市道路変更
1 件

市道路廃止
1 件

指定管理者
2 件

指定金融機関の指定
1 件

人事案件
1 件

議員提出議案
2 件

すべて原案
どおり可決

市民生活の向上予算を可決！

令和5年度
総 額

404億4,220万円

前年度比 3.6%増

一般会計

245億3,000万円

前年度比 4.1%増

一 般 会 計

市税	48億934万円	議会費	1億8,278万円
交付税・交付金	90億6,744万円	総務費	30億3,199万円
国庫支出金・県支出金	43億4,271万円	民生費	74億605万円
繰入金	31億5,596万円	衛生費	22億8,975万円
繰越金	3億円	農林水産費	12億2,216万円
市債（借金）	20億1,880万円	労働費・商工費	6億5,855万円
その他	8億3,575万円	土木費	29億2,035万円
		消防費	10億9,230万円
		教育費	28億6,998万円
		公債費（借金の返済）	28億1,788万円
		その他	3,821万円

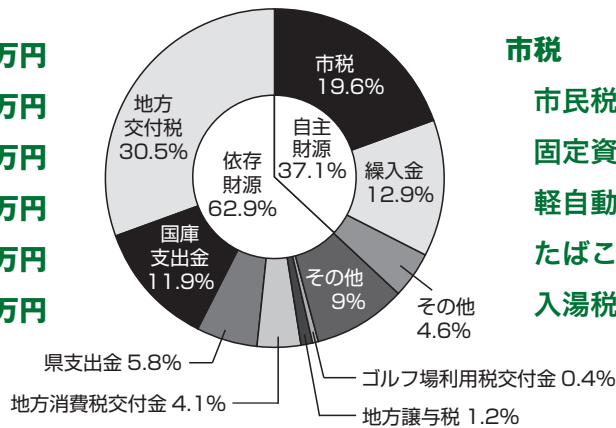
特別会計・事業会計

会計名		予算額	会計名		予算額
国民健康保険 特別会計	事業勘定	46億8,100万円	温泉事業特別会計		1億1,280万円
	診療施設勘定	1億8,500万円	後期高齢者医療特別会計		6億3,100万円
公営墓地特別会計		2,560万円	上水道事業会計	収益的支出	14億2,100万円
介護保険特別会計		52億7,800万円		資本的支出	10億2,630万円
戸別浄化槽整備事業特別会計		1億9,100万円	下水道事業会計	収益的支出	12億80万円
				資本的支出	11億5,970万円

主な歳入内訳

〈依存財源〉

地方交付税	74億8,000万円
国庫支出金	29億776万円
県支出金	14億3,495万円
地方消費税交付金	9億9,500万円
地方譲与税	2億9,949万円
ゴルフ場利用税交付金	9,240万円



〈自主財源〉

市税	48億934万円
市民税	18億910万円
固定資産税	25億3,301万円
軽自動車税	1億6,535万円
たばこ税	2億8,632万円
入湯税	1,556万円

令和5年度主な事業

●小学校外国語教育強化事業

166万円

小学校英語教育の強化に貢献できる中核教員を養成するため、茨城キリスト教大学と連携し、海外大学での研修により英語教員の英語力と指導力の向上を図る。



外国語の授業の様子

●御前山ダム周辺活性化事業

6,214万円

国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、ダム湖面及び周辺でのアクティビティや各種体験ツアーを実施するとともに、地域資源の「発掘」・「磨き上げ」を進め、PR・プロモーション活動を行う。

●常陸大宮駅周辺整備事業

9億9,816万円

都市中心拠点として、住民生活の向上とまちの活性化を図り、計画的な都市基盤整備を進めるため、駅舎・東西自由通路の工事ほか、駅周辺区域内の主要道路等の整備を行う。

●子育て世帯向け住宅整備事業

2億3,130万円

本市に住みたいと思える魅力あるまちづくりを進めるとともに、子育て世帯の移住・定住を促進し、人口減少対策として中富町地内へ住宅を整備する。令和5年度は用地取得・造成工事実施設計・建設工事実施設計を行う。

●移住・定住促進事業 1億523万円

関係人口・移住・定住人口の増加につなげるため、市の魅力や移住・定住に関する情報発信、相談・支援の充実を図るとともに、各種体験プログラムを実施する。(LINEによる移住相談を開始)

●ショッピングセンターピサーロ

子ども広場整備事業 9,620万円

雨天時でも利用できる「子ども広場」を整備し、子育て環境の充実を図るとともに、施設利用者の誘客による活性化を推進する。(供用開始：10月予定)

●出産・子育て応援事業

1,958万円

安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品購入等の負担軽減を図る経済的支援を一体的に実施する。

議案第11号

常陸大宮市公共施設保全等基金条例

公共施設の計画的な保全等に必要な財源を確保するものです。

施行期日 令和5年4月1日



条例 制定

議案第12号

常陸大宮市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正により、国政選挙における選挙運動の公費負担の限度額が改定されたことを踏まえ、市議会議員及び市長の選挙においてもこれに準じた措置を講じるものです。

施行期日 令和5年4月1日

条例 改正

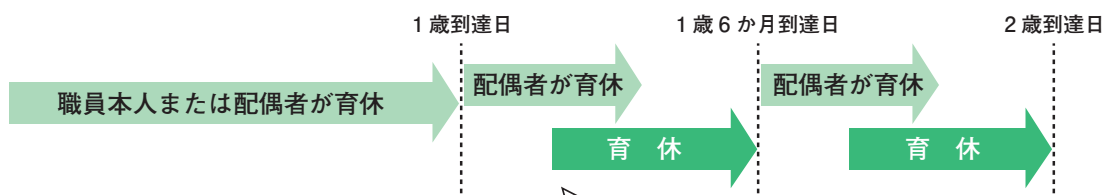
議案第13号

常陸大宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の改正により、国の非常勤職員の育児休業の取得要件が緩和されたこと等を踏まえ、市においても同様の措置を講じるものです。

- 1 非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和
(改正後) 出生後8週間+6か月(計約8か月)以降も、同一の任命権者において任用される見込みがある場合に取得可
- 2 非常勤職員の育児休業の取得の柔軟化
(改正後) 開始時点を柔軟化し、各期間途中での夫婦交代での取得可能に！

各期間途中での夫婦交替での取得が可能



開始時点を柔軟化することで、
夫婦が育休をいつでも途中交替できる

施行期日 令和5年4月1日

議案第15号

常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例

出産・子育て応援交付金が創設されたことを踏まえ、出産祝い金の支給額を見直すものです。

施行期日 令和5年4月1日

議案第16号

常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

福祉の充実及び少子化対策の一環として、妊産婦及び小児に係る医療福祉費の所得制限を撤廃し、全ての子育て世代の経済的負担の軽減を図るものです。

施行期日 令和5年10月1日



議案第17号

常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令の改正により、出産育児一時金の額が改定されたことに伴い、常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正するものです。

現行 408,000円（加算額12,000円）

改正後 488,000円（加算額12,000円）

施行期日 令和5年4月1日

議案第18号

常陸大宮市温泉・温浴施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

指定管理委託の更新に当たり、常陸大宮市温泉審議会からの答申を踏まえ、施設の利用料金に係る規定等を見直すものです。

利用料金の基準額を定め、指定管理者が利用料金を当該基準額の2倍の範囲内で定めることができるように、改正するものです。

施行期日 令和5年6月1日

議案第31号

常陸大宮市パークアルカディアの設置及び管理に関する条例

パークアルカディア再整備・運営に関する民間提案制度の実施により、官民連携し、アウトドアを中心としたネイチャーパーク推進事業を展開するものです。

施行期日 令和5年6月1日

令和5年第1回定例会議決一覧

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度常陸大宮市一般会計補正予算(第8号))	—	承認
議案第2号	令和5年度常陸大宮市一般会計予算	予算決算	可決
議案第3号	令和5年度常陸大宮市国民健康保険特別会計予算	予算決算	可決
議案第4号	令和5年度常陸大宮市公営墓地特別会計予算	予算決算	可決
議案第5号	令和5年度常陸大宮市介護保険特別会計予算	予算決算	可決
議案第6号	令和5年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計予算	予算決算	可決
議案第7号	令和5年度常陸大宮市温泉事業特別会計予算	予算決算	可決
議案第8号	令和5年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計予算	予算決算	可決
議案第9号	令和5年度常陸大宮市上水道事業会計予算	予算決算	可決
議案第10号	令和5年度常陸大宮市下水道事業会計予算	予算決算	可決
議案第11号	常陸大宮市公共施設保全等基金条例	総 務	可決
議案第12号	常陸大宮市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	総 務	可決
議案第13号	常陸大宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	総 務	可決
議案第14号	常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第15号	常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第16号	常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第17号	常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第18号	常陸大宮市温泉・温浴施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第19号	常陸大宮市立学校設置条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第20号	市道路線の変更について(40158号線ほか1路線)	—	可決
議案第21号	市道路線の廃止について(10792号線)	—	可決
議案第22号	指定管理者の指定について(やまがたすこやかランド三太の湯・ござんやま温泉保養センター四季彩館・美和ささの湯)	経済建設	可決
議案第23号	指定管理者の指定について(山方自然生態観察施設淡水魚館の指定期間の変更)	経済建設	可決
議案第24号	指定金融機関の指定について	—	可決
議案第25号	令和4年度常陸大宮市一般会計補正予算(第9号)	予算決算	可決
議案第26号	令和4年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	予算決算	可決
議案第27号	令和4年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算(第4号)	予算決算	可決
議案第28号	令和4年度常陸大宮市温泉事業特別会計補正予算(第2号)	予算決算	可決
議案第29号	令和4年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
議案第30号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(山方 中嶋 正夫氏)	—	同意
議案第31号	常陸大宮市パークアルカディアの設置及び管理に関する条例	経済建設	可決
議提第1号	常陸大宮市議会会議規則の一部を改正する規則	—	可決
議提第2号	常陸大宮市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	可決

◆賛否の分かれた議案等

議案番号	件名	議決結果	議 員 名																
			小河原利一郎	三次雅子	倉田稔之	坪司一功	高村明彦	岡崎欣也	三次弘史	富山和男	大貫道夫	小森敬太郎	吉川美保	武石寿長	高村和郎	淀川茂樹	掛札行雄	秋山信夫	
議案第2号	令和5年度常陸大宮市一般会計予算	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第3号	令和5年度常陸大宮市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第5号	令和5年度常陸大宮市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第9号	令和5年度常陸大宮市上水道事業会計予算	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第15号	常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第23号	指定管理者の指定について（山方自然生態観察施設淡水魚館の指定期間の変更）	可決	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ※『—』：議長は採決に加わりません。

討論

議案第15号 常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例

※討論とは…議題になっている案件の「賛成」「反対」について、理由を明確に述べながら賛否を議論すること。

反対

高村 功 議員

現行の出産祝い金は第1子が3万円、第2子が5万円、第3子が7万円、第4子が10万円、第5子以降は20万円で県内でもトップクラスの手厚い施策をとっており、少子化対策として正当に評価されるべきものと考えます。これが国の交付金と合わせて第5子まで一律13万円となり、子育て世帯からすれば後退とも受け止められかねません。現行の出産祝い金の水準を維持しつつ、そこに交付金を加算し、少子化対策に対するより分厚い施策とすべきであると述べて、反対討論とします。

賛成

岡崎 欣也 議員

令和4年12月に「出産・子育て応援交付金」が創設され、必要な支援につなぐ伴走型支援と、育児用品などの購入を助成する経済的支援の一体的な実施により、安心して出産・子育てができる環境が整備されました。
市独自の出産祝い金の支給、さらに市独自の子育て世帯への支援として、乳児育児用品購入助成券支給事業を実施しており、すべての出生児に一律5万円が給付されます。以上のことから、賛成討論とします。

採決の結果、賛成多数で可決されました

議員提出議案

議提第1号

常陸大宮市議会会議規則の一部を改正する規則

タブレット端末を導入することに伴い、議場等における携帯品の取扱いについて変更するほか、所要の規定の改正をする必要が生じたため、規則を改正するものです。

議提第2号

常陸大宮市議会委員会条例の一部を改正する条例

行政組織の機構改革に伴い、部の名称が企画部に変更となり、総務常任委員会の所管内容を変更するため、条例を改正するものです。

集中審議

Q&A pick up

委員長：三次 弘史 議員

副委員長：小原 明彦 議員

財政・まちづくり

Q 地区集会施設整備支援事業について、特に区が管理している地区集会所の今後の対応については

A 現在、市が管理している地区集会所は25施設、区が管理しているものは107施設、その他管理のものを含め、合計で149施設あります。この中で、区が管理している施設については、区での話し合いの結果、老朽化に伴って解体したいということであれば、支援をしていきたいと考えています。

Q 予約制乗合タクシーについて、現在は、電話で予約をしても断られるケースがあるが、AIデマンドシステムの導入によって解消されるのか

A 乗合タクシーの利用については、特に11時、12時、13時台の利用者が多く、定時運行をしているため、お断りするケースがあります。AIデマンドシステムの導入によって、随時運行が可能となり、将来的に解消されるものと考えています。

Q デジタル・トランスフォーメーション推進事業の中の、キャッシュレス決済周辺機器で、具体的なキャッシュレスの種類は

A クレジットカード、電子マネー、スマートコードなど、一般的に使用されているものを考えています。



教育・福祉

Q 不妊治療・不育症検査助成事業を継続していく上で、今後の財源をどうしていくのか

A 大事な事業であるので、関連部署と調整しながら進めていきたいと考えています。

Q 歴史民俗資料館の将来的な考え方は

A 資料が、重複しているものも多くあるので、よく精査をして、返却・処分を考えていきます。また、文化財展示施設については検討委員会で総合的に検討します。

Q 現在のふれあいギャラリーはどうなっているのか

A 現在は、新型コロナウイルスワクチン接種のコールセンターとして使用しています。作品展示などについては、ショッピングセンターピサロをギャラリーの代替施設として使用しています。

Q 学校施設管理運営費で、配置される用務員について、具体的な仕事の内容は

A 各中学校を拠点校として、4人配置され、1人が4校を担当し、週4回勤務で、学校の清掃、刈り払い機を使用するの除草、文書の配送などの業務を行う予定です。



令和5年度 予算審査

予算決算常任委員会（3月15日～17日）

建設・産業

A Q

イノシシ等有害鳥獣の被害について、近年の実績は鳥獣被害無くし隊から報告のあった、イノシシ等の捕獲実績については、令和3年度、令和4年度（12月まで）の順でお答えいたします。イノシシは409頭、478頭、ハクビシンは34頭、31頭、タヌキは64頭、77頭、カラスは22羽、39羽、カルガモは16羽、18羽、カワウは12羽、7羽となっています。以前に比べれば、被害は減ってきていると言えますが、今後は増えてくることが想定されます。



A Q

ショッピングセンターピサロの子ども広場整備事業について、利用者の想定は利用者数は、1日あたり平均で20～30組程度を想定しています。

A Q

地域商社設立準備推進事業の内容は観光商品やふるさと納税返礼品の開発を行い、令和7年度から、ふるさと応援寄附返礼品事務などを行う予定です。

A Q

観光誘客促進事業で県等が実施するデスティネーションキャンペーンでの市が勧める企画は高部宿のツアーと御前山ダムのカヌー、サップ等を提案しています。

討論

議案第2号 令和5年度常陸大宮市一般会計予算

※討論とは…議題になっている案件の「賛成」「反対」について、理由を明確に述べながら賛否を議論すること。

反対

高村 功 議員

今、深刻な物価高騰や電気・ガス料金の値上げが国民の暮らしを大きく直撃しています。また、福祉・医療の危機、人口減少と地域経済の衰退など、地方は深刻な問題に直面しています。県内の各自治体では学校給食費の無償化や軽減、上下水道料金の軽減など負担軽減策に取り組んでいます。常陸大宮駅周辺事業は多額の予算を伴うものであり、また市民の中にも賛否のある事業であり、今後さらなる丁寧な説明、報告を求めます。合併20年を迎えますが、今こそ市全体の均衡ある発展を目指すべきです。以上、反対討論とします。

賛成

三次 雅子 議員

少子・高齢化の影響から生産年齢人口が減少し、歳入では、市税に大きな伸びが見込めない状況であるが、財源となる国・県の補助金のほか、合併特例事業債や過疎対策事業債など、交付税措置の市債を効果的に活用したうえで、所要の財源を確保しています。歳出は、本格化する常陸大宮駅周辺整備事業関連経費のほか、総合計画政策プロジェクトに掲げる戦略を推進するため、限られた財源を効果的に配分し、持続可能な市民サービスが提供されるよう健全化に配慮したメリハリのある予算編成であると考え、以上、賛成討論とします。

採決の結果、賛成多数で可決されました

常任委員会審査 pick up

議案第11号 常陸大宮市公共施設保全等基金条例

Q 想定している1年あたりの積立額と期間は

A 各年度の余剰金に応じた一定程度の額の積立を見込んでいます。当面の間、管理する施設保全に必要な積立を継続します。

議案第12号 常陸大宮市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

Q 市議会議員一般選挙で使用するビラに関する条件はどのようになっているか

A ビラの規格はA4サイズで、2種類までの作成が可能であり、合計4,000枚まで作成することができます。

議案第13号 常陸大宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

Q 育児休業を取得する場合、夫婦が交互に取得することとなるのか

A 仕事に戻りやすい状況をとるため、夫婦交替での取得が可能となりますが、夫婦の両方が同時に取得することも可能です。

議案第14号 常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

Q 市内の家庭的保育事業を行っている事業所数とそのうちバス等の送迎をしている事業所の数は

A 家庭的保育事業所が1か所、小規模保育事業所が1か所、事業所内保育事業所が1か所の計3事業所ありますが、バス等の送迎はしていません。

議案第15号 常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例

Q 出産祝い金の支給実績と来年度予算は

A 令和3年度の実績として、合計で169名に851万円を支給しました。令和5年度予算は、190名で570万円です。

議案第18号 常陸大宮市温泉・温浴施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

Q 常陸大宮市温泉審議会の答申を踏まえて改正に至った理由は

A コロナ禍の中での経営状況と原油価格の高騰等による運営費の増大により、経営改善を図る必要があることから利用料金の改正を行うものです。

議案第31号 常陸大宮市パークアルカディアの設置及び管理に関する条例

Q 本条例中、パークアルカディアは複数の施設で構成されているが、代表地番が1か所となっている。今後、施設が追加となっても条例に支障はないのか

A 常陸大宮市公園条例などは、各公園の位置を表記していますが、当該施設は一体として捉えています。当施設内に新たに施設が整備されても支障ありません。

総務

◎小原 明彦 小森 敬太郎
○坪 司一 高村 功
淀川 茂樹 三枝 雅子

◎委員長 ○副委員長

文教福祉

◎大貫 道夫 三枝 弘史
○岡崎 欣也 小河原 利一郎
武石 寿長

◎委員長 ○副委員長

経済建設

◎富山 和男 掛札 行雄
○倉田 稔之 高村 和郎
秋山 信夫 吉川 美保

◎委員長 ○副委員長

令和4年度補正予算

会計名	補正額	主な事業
一般会計（第9号）	▲5億6,057万円	救急医療体制強化事業（ドクターカー） ▲907万円 大宮運動公園市民球場改修工事 ▲851万円 ふれあいの船実行委員会補助金 ▲1,551万円
国民健康保険特別会計（第4号）	事業勘定 ▲3,394万円	一般被保険者高額療養費負担金 ▲2,409万円
	診療施設勘定 ▲190万円	医療機械借上料等 ▲90万円
介護保険特別会計（第4号）	▲1,132万円	地域包括支援センター運営委託料 ▲566万円
温泉事業特別会計（第2号）	2,605万円	三太の湯空調設備改修工事 ▲470万円
		美和ささの湯用地購入費 3,130万円
後期高齢者医療特別会計（第1号）	189万円	後期高齢者医療広域連合納付金 189万円

あなたが出された 請願・陳情は！

請願

番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果
請願 第R5-1号	市道30312号線に架かる「蛙田橋」の復旧工事について	大曾根 好一ほか 18人	三次 弘史	経済建設	継続審査

議会への請願・陳情

請願・陳情は、市民の皆様が、市政に関することについて、要望や希望等を直接議会に提出することができる制度です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。または議会事務局へお問い合わせください。

- 提出先 議会事務局（本庁4階）
- 受付期間 各定例会開会日の7日前の午後5時まで
- その他 署名簿は住所及び氏名（署名または記名押印）を記載の上、原本を提出

〈書式例〉

(表紙) 年 月 日 常陸大宮市議会議長 様 〇〇〇〇に関する請願書（陳情書） 請願者 住所 氏名（署名または記名押印） ほか〇人 (印) 紹介議員 〇〇〇〇（署名または記名押印） （陳情の場合、紹介議員は必要ありません）	(別紙) 件名 〇〇〇〇に関する請願（陳情） 請願（陳情）趣旨 請願（陳情）事項 ・ ・ 地方自治法第124条の規定により提出 します。（陳情の場合は、除きます）
---	---

※審議の結果については、採択・不採択にかかわらず、郵送でお知らせします。

今回7人の議員が登壇し、
さまざまな視点から市政を問いました。

※一般質問は、新型コロナウイルス感染防止のため、質問席にアク
リルパーテーションを設置しています。

一般質問

市政を問う

倉田 稔之 議員 P13

- ◇行政運営におけるエネルギー政策の考え方について
- ◇公共部門における電力需要について
- ◇エネルギーの地産地消について

三次 弘史 議員 P14

- ◇人口減少対策について

三次 雅子 議員 P15

- ◇山方地域の緊急時の対応について
- ◇神奉地地内の公共施設等の今後について

高村 功 議員 P16

- ◇市公共施設等総合管理計画について
- ◇学校給食費の無償化について

小原 明彦 議員 P17

- ◇新たな地域活性化策について
- ◇職員のメンタルヘルスについて
- ◇ドクターカーの運用について
- ◇緊急通報システム設置事業について

大貫 道夫 議員 P18

- ◇令和5年度当初予算における事業展望について
- ◇小・中学校の教育環境について

富山 和男 議員 P19

- ◇地域防災について
- ◇道路改良等について

◇一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

一般質問とは...

定例議会において、各議員が住民の代表として、市の行政全般にわたり市当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

倉田 稔之

議員



※録画配信をご覧いただけます。

その他の質問

・公共部門における内燃機関系の燃料エネルギーの需要について

行政運営におけるエネルギー政策の考え方について

市民生活部長／常陸大宮市環境基本計画で本市に適したエネルギー政策を推進

エネルギー価格高騰の今、それに対してどういう取組をしているのか。エネルギー政策、市の指針・方針があるのでしょうか。

市民生活部長

現在、市役所内の省エ

ネ、省資源及び廃棄物の減量化等については、常陸大宮市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）をもとに取り組んでおり、その

実績値は規定により毎年国に報告しています。

公共部門における電力需要について

総務部長／当初対比22.2%の増

省エネの代表選手であるLEDですが、市の施設全体では、どれぐらいの割合でLED化しているのか、またそれはどれぐらいの節約になっているのかお聞かせください。

市民生活部長

これまでLED化した

主な施設は市役所庁舎、地域センター（支所）3か所、小学校11校、中学校4校、

図書館、給食センター等で、施設ごとに年次計画に基づきLED化を進めてきました。費用対効果は、防犯灯を例に挙げると、市内のすべて約5500基をLED照明に交換した結果、年間の電気料金は交換前の1874万円に対し交換後は903万円で、半額以下となり相当な効果が得られています。

エネルギーの地産地消について

市民生活部長／エネルギーの自給率は約1.4%

ここまでの質問で明らかになったのは、常陸大宮市はエネルギーの自給率がと

ても少ない、ということですね。社会情勢や様々な理由によって、電気をはじめとするエネルギーの供給が、これからも不透明で不安な状況です。非常用の蓄えはあるのでしょうか、それにプラスして、市内でこれらのエネルギーを自給できる体制を整えていくことが必要だと思います。自前で持っている資源や設備を使ってエネルギーを作り出していく方向を考えてみてはどうでしょうか。つまりエネルギーの「地産地消」であり「創電」です。市長のお考えをお伺いいたします。

市長

再生可能エネルギー等を積極的に導入し、電力の自給率を高めていくことは必要であ

り、さらにはできる限り電力会社に頼らないエネルギーの地産地消の仕組みづくりについて研究する価値は十分あると考えています。



三次 弘史

議員



※録画配信をご覧ください。

若者への就職支援については

産業観光部長／市内企業への就職を支援する

市内には働く場所はあるが希望する就職先が見つからない状況にあります。若者への就職支援の取組について伺います。

産業観光部長

高校新卒者の就職マッチング支援及び市内事業所の人材の確保、定着を目的に、昨年6月に市内の高校2校、近隣の高校2校を対象に、市内7事業所による企業説明会を開催し、その中の3つの事業所に6名の就職が決まりました。しか

しながら、市内企業への就職者数は決して多くはなく、市内企業への就職者の増加を図っていきたい考えです。また、今後はハローワーク常陸大宮と連携し、インターンシップを活用した就職支援も検討していきます。

結婚応援事業の取組は

地域創生部長／結婚相談体制の充実と出会いや交流の場を創出

結婚応援事業の取組について伺います。

地域創生部長

少子化の一因である生涯未婚者や晩婚化を解消す

るため、結婚応援サポートによる結婚相談や婚活イベントの開催、また、いばらき出会いサポートセンター入会登録料の助成などを行っています。結婚相談会は、毎月第3日曜日に開催し、相談件数は、昨年度45件、本年度は2月まで53件でした。また、婚活イベントを市商工会へ委託し、昨年9月と本年2月に開催し、計6組のマッチングに成功しました。その後、結婚まで至るかは、当事者の意思に委ねられますが、市としては引き続き結婚を望む人が結婚できるように、県や関係団体などと連携し、さらなる相談体制の充実と男女の出会いや交流の場の創出を図ります。

不妊治療の助成は

保健福祉部長／制度の周知に努め必要な方に利用していただく

市では、少子化対策の一環として夫婦の経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する治療費の助成をしています。その実績について伺います。

保健福祉部長

不妊治療は、令和4

年度から保険適用になったが依然として治療費は高額です。夫婦が経済的な理由から断念することなく治療に専念できるよう全額助成をしています。この制度による出産件数は、昨年度15件、本年度3件で、今後の



生まれたばかりの赤ちゃん（イメージ）

予定は9件です。また、本市で不妊治療費助成を受ける目的で移住した世帯は、昨年度が6世帯、本年度が3世帯でした。今後も新聞やメディア等を通じ、制度の周知に努め、必要な方に活用していただくことももちろん、市外の方々にも当制度をきっかけに移住し、自然豊かな当市で子育てする方が増えることを期待します。

山方地域の緊急時の対応について

消防長／出動訓練、地理調査、知識の修得等の継続を

救急搬送は、急病で時間がかかってしまったら、助かる命も助からなくなってしまう。このような現状をどのようにお考えか伺います。

消防長

119番通報の内容から重症が疑われる場合は、ドクターヘリ、ドクターカーを要請し、早期医療介入の対応をするともに、日頃の出動訓練、地理調査、知識の修得を継続し、時間の短縮に努めていきます。

いろいろな緊急出動はあると思いますが、現在は消防

防団員数の減少、詰所の減少と緊急対応には難しいのではないかと思います。このような現状をどのようにお考えか伺います。

消防長

出動を確実にするための、分団の再編成を実施し、地域住民の不安を払拭できるように消防団員等の募集を進め、火災をはじめ各種災害による被害を最小限に抑えられるよう訓練に努めていきたいと思っています。

淡水魚館の突然の閉館報道は

産業観光部長／採算性及び有用性等に関する総合的判断の下、休館を決定

淡水魚館は、水産生物資

源の保全と適正な利用、地域振興に資する多目的施設として設立され、平成3年からは特別天然記念物のオオサンショウウオを環境保全や文化財保護の啓発を目的に飼育してきました。施設の今後の活用方針について質問してから半年余り、その間何も報告がなく、1月8日、突然の閉館新聞報道でした。自然環境教育の面からも将来を担う子どもたちには大きな損失となると思われまます。このようなことを踏まえてあまりにも早い休館決定となった経過を伺います。

産業観光部長

令和4年度第3回定例会

会における議員からの質問時点においては、オオサンショウウオや他の生物の移譲先が調整できていない状況で、休館、閉館の決定に至っております。現状の運用をしながらも採算性、費用

対効果のほか有用性などを検証し関係する部署と協議する旨、答弁したところであります。その後、12月に移譲先との協議が整ったことにより、総合的判断の下、休館を決定したものです。



淡水魚館外観

歴史民俗資料館、旧山方館の有効活用は

教育部長／柔軟な対応で貴重な歴史資料等の活用を図る

歴史民俗資料館の在り方、利用状況及び管理運営状況から大宮館のみで充足しているところもありましたが、テーマが違ふことから展示物の違いは明らかです。山方館の資料を活用した企画展や有効活用の考えをお聞かせください。

教育部長

収蔵施設として活用し

ている旧山方館は、学校等教育関係機関などに対応し、民具や歴史資料は整理作業を進め、収蔵物は展示に限らず、県内外の博物館への貸し出しなど柔軟な対応で、貴重な歴史資料等の活用を図っていきます。

三次 雅子

議員



※録画配信をご覧ください。

高村 功

議員



※録画配信をご覧ください。

その他の質問

- ・常陸大宮駅周辺整備事業と周辺地域について
- ・マイナンバーカードについて
- ・若林通学路の安全確保について

淡水魚館の今後の対応は

産業観光部長／休館後もすべての生物が移譲されるまで施設の維持管理を行う

休館の直接の理由は採算の問題なのかどうか伺います。

産業観光部長

令和3年度収支に伴う

指定管理料依存率は約90%で、非常に高い数値となっており、入館者数は、開館当初は年間約4万人でしたが、令和3年度においては7000人ほどで、約5分の1に減少しています。このような状況の中、事業の採算性のみならず、市内の観光施設のブラッシュアップ

プ及びリニューアルを検討、推進する中で休館とするものです。

子どもたちの教育の施設として、どのような内容で検討したのでしょうか。

産業観光部長

令和3年度において

は、市内外延べ14団体、356人の子どもたちが訪れ、貴重な体験になったと思います。しかし、デジタルの進化も目を見張るものがあり、子どもたちへの学習の機会などの転換を含め、議論を重ねた結果、休館に至りました。

淡水魚館は、約1メートルを超えるオオサンショウウオが生息する全国でも珍しい施設です。市外からも惜しむ声が投稿されました。今後の対応を伺います。

産業観光部長

休館後もすべての生物が移譲されるまで、施設の維持管理をしていきます。

また、生物移譲後の利活用については、各種イベントの企画や団体における利用などを検討しています。

学校給食の無償化の考え方は

教育部長／食材料費は保護者負担としているが、一部を公費負担

近隣市町村でも給食費の無償化が進んでいます。太田市では半額。北茨城市、日立市でも無償化に踏み切り、水戸市でも中学校給食費の無償化を決めました。

いずれも少子化対策と子育て支援です。当市の考え方を伺います。

教育部長

学校給食費の経費につ

いては、学校給食法及び施行令に規定されており、設備費、修繕費、人件費は設置者の負担とし、それ以外は保護者負担としています。このようなことから、食材料費は保護者負担としています。なお、食材料費は、一部を公費で負担し、保護者の負担軽減を図っているところです。

小中学校を全額無償にした場合、同じく半額にした場合、中学校を全額無償にした場合の概算について伺います。

教育部長

令和4年度当初予算額

で申し上げますと、完全無償化を実施した場合、幼稚園・小中学校の園児及び児童生徒に係る総額は995万5000円、半額減免の場合は4978万7500円、中学校のみの場合は3737万8000円です。

例えば、市外から移住しようとした人が、給食費を基準とした場合、近隣市町村へ流れて行ってしまおうと思うが。

教育部長

当市では給食費を無償

化せずに、定住につながる施策を市全体で取り組んでいます。

新たな地域活性化策については

地域創生部長／移住支援策の充実に努めていきます

地方創生移住支援事業については、常陸大宮市わくわく茨城生活実現事業に当たるものですが、国では令和5年度より子育て加算分を1人当たり最大100万円に引き上げられますが、今後どのように進められていくのか伺います。

地域創生部長

子育て世帯の移住促進のため本市においては、常陸大宮市わくわく茨城生活実現事業の加算額を100万円に拡充します。より充実した制度となる点をPRし、事業の周知を図ると

もに、この事業を含めた移住支援策の充実に努めていきます。

職員のメンタルヘルスについては

総務部長／職場環境の改善に努めていきます

身近な部署管内での見えない課題をあぶり出すことで、作業効率やモチベーションを上げられます。ストレスチェックの*集団分析の実施状況等について伺います。

総務部長

所属課単位の分析では全国平均を下回る数値の部署があり、その原因を探り、専門医等の助言を受け職場環境の改善に努めていきます。

これまでの「コミュニケーションの強化や先進的な取組を調査研究し働きやすい職場環境の整備を図る」との答弁から改善された点等の現状の取組について伺います。

総務部長

毎年度、職員が精神疾患を患っており、令和3年度から専門の医療機関とメンタルサポート委託契約し、メンタル不調の原因となった職場環境への対処や復職に向けたリワークプログラムを実施しています。

ドクターカーの運用については

消防長／救急医の確保に連携を図っていきます

ドクターカーの運行は救

命率向上、市民の安心のため、大変に重要な事業であります。厚生労働省でもドクターカーへの支援の拡充が検討されています。本市における運行日の拡充について伺います。

消防長

本市ドクターカー運行の意義は大変大きく、引き続き運行日の拡充に向け、基地病院の常陸大宮済生会病院、県医療政策課と救急医の確保に向けた連携を図っていきます。



運行日の拡充が期待されるドクターカー

緊急通報システム設置事業については

保健福祉部長／設置基準の運用について検討していきます

対象者の日常の健康状態や家庭事情等も踏まえ、設置を希望される方へ必要性に応じた柔軟な運用の推進について伺います。

保健福祉部長

ひとり暮らしの高齢者世帯の増加が急速に進む状況等の変化を見ながら、設置基準の運用について検討していきます。

*集団分析
：個人ごとに実施された結果内容を各集団ごとに集計、分析するもの

小原 明彦

議員



※録画配信をご覧ください

大貫 道夫

議員



※録画配信をご覧ください。

その他の質問

・ふるさと納税について

令和5年度当初 予算の全体総括を

市長／国家がしっかりと
した幹の政策をすべき

倍、女性は5倍です。このような状況から少子化対策の効果が出るまでには、相当時間がかかります。集会施設の問題、学校の生徒数の問題など、諸々含めて全体総括をお願いします。

市長

令和5年度当初
予算につきまし

令和5年度当初予算の全体総括について、国のほうでも異次元の少子化対策を、本市でも人口のダムを進めていますけれども、社会学者の山田昌弘氏が「少子化対策の失敗の本質」ということを言っています。少子化の原因はいわゆる晩婚化という人が多いが、諦婚化、諦める婚、あと母親が少ないという少母化と言っています。

それと50歳時点で一度も結婚しない人、生涯未婚率が非常に伸びている。50年前と比べますと、男性は16

者でできることは、なるべく市内業者が受注の機会を得ることができるよう取り組んできましたが、令和5年度におきましては、さらに深化させていきたいと考えています。

それから、少子化の話がありました。大体同じ考えなんです。やっぱり晩婚化とかそういう枝葉の問題ではなくて、30年も経済成長ほとんどしない国家なわけですから賃金が上がらない、それによって結婚を諦める若い方が多い、これが私は少子化の根本原因と思っています。ここにつきましては、市町村でどうのこうのできる問題ではなく、やはり国家がしっかりと幹の政策をつくるべきだと私は考えています。

生徒数が減少している。将来への整理について

教育部長／現状の学校運営を適切に行い、成果を大きく

生徒数が減ってきているので質問させていただきました。義務教育施設適正配置が終わっています。これからどうするか。適正配置みたいなことを考えていくのか。今年度、小学校に入学的な親たちの声を聞きまして、学校在学中に再編があるのではないかと心配をした親の話を何件か聞いています。

教育委員会として将来どうするか、このまましっかり守っていくのか、その

教育部長

教育委員会
では、令和

辺の整理の必要について伺います。

4年11月に常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会から「新たな学校再編は当分の期間行わず、教育委員会の指揮の下、児童・生徒、保護者、地域住民及び学校が連携、協力しながら現状の学校運営を適切に行い、成果をできる限り大きくしていく対応をする。」とし、そのほかに将来的な学校再編や人口減少対策などの付帯意見が盛り込まれた答申書をいただいたところであります。

教育委員会としては、この答申を踏まえまして、当分の期間は現状の学校数が望ましいものと判断しています。

自主防災組織結成後の育成は

総務部長／自主的な訓練や講習会の実施を促す

自主防災組織の実態について伺います。

総務部長

自主防災組織は、地域住民が自分たちの地域は自分たちで守るという自覚と連帯感により自主的に結成する組織であり、非常に重要な組織であります。

地区ごとの結成を促進しており、結成率は81・52%です。結成後は市で行う避難力強化訓練への参加や自主的な訓練や講習会の実施を促しています。

避難場所の標識などの表示について伺います。

総務部長

避難場所等は、災害などにより家に戻れない市民などのために一時滞在させるための指定避難所と、一時的に危険から逃れる場所である指定緊急避難場所があり、指定避難所は41か所、指定緊急避難場所は145か所を指定しています。こちらの表示につきましては、老朽化しているものや名称変更が済んでいないものなどがあり、令和2年度から指定避難所を先行して取り組んでおり、令和4年度末の時点で41か所中39か所が完了する見込みとなっています。

また、表示内容につきましては、指定避難所や指定

緊急避難場所であることが明確に分かるとともに、災害種別の図記号等の情報の重要性も認識しているところであり、そちらの整備やハザードマップ等の更新も含めて進めるとともに、市民に対して分かりやすく伝えるよう努めます。

防火水槽の標識について、消防水利標識の更新と管理について、設置数と今までどのような対応を行い、今後どのような対応を考えているのか伺います。

防火水槽の標識について、消防水利標識の更新と管理について、設置数と今までどのような対応を行い、今後どのような対応を考えているのか伺います。

消防長

施設の整備は、地区ごとの整備計画を整え、劣化が著しいものから順次対応します。

市の公設消防水利の数は、令和4年2月現在で防

火水槽947基、消火栓678基、合わせて1625か所に設置、その近傍には識別できるような標識を掲げているものの、用地の形状などの理由から全ての消防水利に標識を設置できていないのが現状です。その維持管理は、火災発生被害を軽減するうえで迅速な消火活動ができるよう3か月に一回全ての水利調査を行い、漏水や機材の劣化などの修繕に努めています。

通学路の簡易舗装は

建設部長／計画性のある道路整備を進めていきたい

道路改良などについて、

泉地内（市道10627号線）及び下村田地内（市道10903号線）の市道は、上野小学校への通学路であり、未舗装で雨が降ると水がたまり、乾燥すると砂ぼこりとなる。簡易舗装は難しいのか伺います。

建設部長

現時点では、舗装等の計画の予定はないが、当該市道を含め、特に大宮高台地域の道路整備は、安全で快適に暮らせるまちづくりの観点からも、道路幅員が十分に確保され、計画性のある道路整備を進めたいと考えています。



※録画配信をご覧ください。

先進地を視察

総務常任委員会

令和5年1月24日（火）～25日（水）



栃木県足利市

移住・定住の推進について

JR東日本と締結した「駅を中心としたまちづくり及び鉄道利用促進に関する連携協定」を活用して、ワンストップ窓口「移住・定住センター」を開設し、専門の移住関連情報を発信する移住支援員2名を配置し、土・日・祝日の相談にも対応可能な体制で業務を行っている。そのほかにも、首都圏に暮らす足利市ゆかりの人々との対話交流会を開催し、希望者や移住者とのネットワークを構築し、相談等に丁寧に対応することで、受け入れにつながっている。また、移住専用サイトを開設し、首都圏からの移住を希望または検討している人に対して、さまざまな情報の発信を行っている。

委員会の意見

移住定住の推進にあたり、市の大きな財産を活かし、所管部署により魅力の創出やブラッシュアップに取り組み、また支援職員や地域おこし協力隊等の関係機関との連携も参考になり、内容を調査・研究し取り入れられる点の検討を進めるべきだと感じた。



議会運営委員会

令和5年1月30日（月）



茨城県笠間市

議会ICT化の取組について

タブレット端末で、運用を開始し、完全ペーパーレス化が図られている。導入による効果は、コストの削減、大量の紙資料の持ち運びが不要、視認性の向上、過去の会議資料の振り返りが可能となっている。

委員会の意見

タブレット端末運用は、完全ペーパーレス化の実現と取組の必要性の意識統一や端末操作の研修会等を実施し、操作力の向上に取り組むべきものである。また、SNSを活用した議会情報の発信は、オンライン会議においても必要性は感じていることから、検討していく必要がある。

議会BCPについて

自然大規模災害・感染症発生時等の緊急事態が起きた際のリスク管理を目的とした、業務継続計画が策定されている。

委員会の意見

先進事例の計画を参考例として、勉強会や協議を経て計画が策定されている。本市においても、大規模災害や感染症発生時における組織体制や統一的な行動指針となる議会BCPの策定は急務である。先進事例の計画を参考例としつつ、現状にかなう計画を策定すべきであると考え。



報 告 研 修

市町村議会議員特別セミナー

期 日：令和5年1月10日～11日

場 所：市町村職員中央研修所（千葉県）

演 題：「歴史に学び地方の未来を読む」ほか

講 師：加来 耕三氏（歴史家・作家）ほか

出席者：高村 功、三次 雅子、小河原 利一郎

茨城県市議会議長会主催研修会

期 日：令和5年2月15日

場 所：ホテルマロウド筑波（土浦市）

演 題：教育日本一「茨城スタイル」～明日の茨城を支える教育とは～

講 師：プラニク・ヨゲンドラ氏（茨城県立土浦第一高等学校・附属中学校副校長）

出席者：高村 和郎、武石 寿長、小森 敬太郎

議員研修会

期 日：令和5年2月16日

場 所：市役所 議会会議室

内 容：質問力の向上と政策提言

～一般質問について「議員の質問」から「議会の質問へ」～

講 師：高沖 秀宣氏（自治体議会研究所代表）

参加者：全議員



テレビ会議システムを使用しての研修

茨城県後期高齢者医療広域連合人事

第1回定例会において、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に選出されました。

吉川 美保 議員

閉会中の委員会の活動

議会運営委員会

令和4年12月21日、令和5年1月11日、
2月10日、2月22日

- 第1回定例会会期日程（案）について
- 市議会会議規則の一部改正（案）について
- 市議会委員会条例の一部改正（案）について
- 市議会先例及び申し合わせの一部改正（案）について
- 市議会の個人情報の保護に関する規程（案）について
- 市議会公印規程の一部を改正する訓令（案）について
- 第1回定例会について
 - ・定例会の会期日程について
 - ・議案の所管常任委員会の付託について
 - ・請願陳情の審査について

総務常任委員会

令和5年2月24日

- 各種計画及び事務事業の進捗状況について
 - ・防災備蓄倉庫整備事業
 - ・個人番号カード交付事業
 - ・地域創生まちづくり事業
 - ・ふるさと応援基金事業
- 移住・定住等の推進について
 - ・各種取組状況



現地踏査：大宮南部コミュニティセンター

文教福祉常任委員会

令和5年2月17日

- 各種計画及び事務事業の進捗状況について
 - ・大宮運動公園市民球場整備事業について



現地踏査：大宮運動公園市民球場

経済建設常任委員会

令和5年2月22日

- 各種計画及び事務事業の進捗状況について
 - ・子ども広場整備事業について
 - ・子育て世帯向け住宅整備事業について
 - ・常陸大宮駅周辺整備事業について



子ども広場整備事業（ショッピングセンターピサー口）
についての審査

広報広聴常任委員会

令和5年2月15日

○市内県立高校生との意見交換会

場 所：小瀬高等学校

テーマ：「私が描く常陸大宮の将来像」

「私が常陸大宮に望むもの」

「私の高校自慢」

参加者：2年生 24名



グループの代表による発表



全体での市議会概要等の説明の後、3グループに分かれてのグループワークを行いました。

令和5年「議会報告会」開催のお知らせ

市議会では、意見交換会を主にした議会報告会を開催します。

今回の意見交換会は、参加された皆さんと議会議員をいくつかのグループに分け、グループごとの意見交換を予定しています。

どなたでも参加できますので、お気軽に会場へお越しください。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

○内容 ・各常任委員会の活動報告について

・特別委員会の概要について

・意見交換会のテーマ

「市の重点政策 人口流出を防ぐダム（政策）の構築と実践」

○日程

日 時		場 所
5月17日（水）	午前10時	神奉地コミュニティセンター 多目的ホール
		美和地域センター別館 大ホール
	午後2時	緒川地域センター 大会議室
		御前山地域センター別館 大ホール
5月18日（木）	午後7時	おおみやコミュニティセンター 多目的ホール

※ご都合の良い会場へお越しください。

時間は、各回とも90分程度を予定しています。

希望を胸に



4月7日、マスク着用の義務がない中で、市内小中学校の入学式が行われました。

第2回定例会会期日程（予定）

月日	曜	会議	内容
6月6日	火	本会議	開会、議案説明
7日	水	休 会	議案調査
8日	木	休 会	議案調査
9日	金	本会議 予算決算常任委員会	議案質疑 補正予算
12日	月	休 会	議案調査
13日	火	本会議	一般質問
14日	水	本会議	一般質問
15日	木	常任委員会	
16日	金	常任委員会	
19日	月	常任委員会	
20日	火	休 会	議案調査
21日	水	休 会	議案調査
22日	木	本会議	委員会審査報告、 質疑、討論、採決、 閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴券は、会議の当日に傍聴受付（4階議会事務局）において、先着順により交付します。

傍聴人の定員は30人です。定員を超えた場合は、4階傍聴人口ビーのモニターでご覧いただけます。

（第1回定例会の傍聴人は延べ41人でした。）

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスクを着用して傍聴いただきました。
ご協力ありがとうございました。



マスコットキャラクター

ひたまる

トルコ南東部地震の被災地に対して、日本赤十字社を通じ、当市議会有志から義援金を送金いたしました。

発行責任者 常陸大宮市議会議長
編集 広報広聴常任委員会
〒319-2292
茨城県常陸大宮市中富町3135-6
TEL 0295-52-1111(代) 413
0295-53-0393(直)
FAX 0295-52-2186
E-mail gikai@city.hitachiomiya.lg.jp
URL https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/
議会広報は、ホームページでも
ご覧になれます。



編集後記

先日、市内の県立高校2校に出向いて「意見交換会」を実施したところ高校生ならではの様々な意見を聞くことができました。その中には、若者が常陸大宮市に定着するために、取り組まなければならない課題があると強く感じました。また、高校生に市議会について理解を深めてもらう良い機会にもなりました。今後、課題解決に努めるとともに、若者が議会に興味を持てるような情報発信となるよう議会広報の充実に努めていきます。

委員 三次 弘史